

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 15日

事業所名 放課後等デイサービス 喜び

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				キッズハウスよろこびが開所し、利用者が分かれた為、スペースにおいて余裕ができた。
	2	職員の配置数は適切である	7			基準以上の配置が 出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			スロープや手すり 等バリアフリー化 されている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1			見落しがないように行事計画書と報告書を日誌と一緒に挟み、全員が周知出来るようにした。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			アンケートを実施し、保護者からの意見をもとに改善策を出し合っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			積極的に参加出来ている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			半年に一度面談を実施し、アセスメントを行っている。それを基に個別支援会議を実施し計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			職員全員で次の月の行事や活動内容を決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節行事を必ず取り入れながら、子どもたちが楽しく色々な経験が出来るよう考え、固定化しないよう工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		特に休日、長期休暇においては野外活動など平日には取り組むことが難しい体験活動を積極的に取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			子どもの現状に合わせて、個別での対応が必要な児童に対しては個室で支援を行っている。	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			朝礼時、キッズハウスよるこび、キッズデイよるこびと合同で打ち合わせをし情報共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5		翌日の朝礼時に行っている。	利用者がおられる為、長期休み時や支援終了後に行うことが難しい日もある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			利用日の様子や行った活動内容は記録を取り、情報の共有をしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児発管、担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			学校の行事予定のおたよりを頂き、下校時間、行事予定などを把握している。	やや情報共有が減ったと感じる学校もあるが基本的には出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	4		該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1		利用開始前に、園へ訪問し情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			移行支援会議に参加し、情報提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	6		コロナも治まってきたので、少しずつ交流が出来たらという話が出ていたが、実施するまでには至っていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		1		児発管が出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時や玄関対応等で、その日の様子や活動内容を伝え、お家での様子を伺っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		保護者から相談があった時は、デイでの対応を伝えたり、アドバイスしたりしている。	保護者にペアレントトレーニングに関しての研修を実施していない。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		利用開始前の契約時に、重要事項説明書と合わせて説明を行っている。		

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		面談、送迎時等で話を伺い、情報共有した上で助言を行っている。	必要な助言は難しいと感じる。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	3	他事業所と合同で保護者も参加されたの勉強会を実施した。	保護者会開催を希望されていない方もおられる。個人的に保護者が同士が繋がっていることはあるが連携を支援はしていない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				時系列で詳細をまとめ、苦情が発生した原因を把握。改善点を話し合い、次に生かせるようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				毎月連絡アプリにて通信を配信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	3		地域の公民館行事に参加した。	以前はお声がけをしていたので、コロナも落ち着いてきたので今後も行っていくとよいと思う。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3				保護者にまで周知が出来ていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1			消防の方に来て頂いて避難訓練を実施している。	色々な非常災害を想定して訓練を行っていった方がよいのではないかな。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				虐待防止研修に参加し、施設内研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	5				身体拘束を行う可能性のある利用者はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1			アレルギーの確認は必ずしているが、医師の指示書まではもらっていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1			ヒヤリハットがあった場合、3事業所合同で情報共有し、周知することで意識づけをしている。	